

令和3年2月9日

鹿屋市長
中西 茂様

肝属地区老人福祉施設協議会

会長 池田志保子

副会長 石踊紳一郎

大隅地区介護事業所連絡協議会

会長 池田志保子

副会長 森元美隆

鹿児島県肝属地区老人福祉施設協議会・大隅地区介護事業者連絡協議会
新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査のまとめと要望

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が収束のめどがつかない中で、介護現場におきましても頻回な陽性者の発生やクラスター発生が起きております。介護職員の多くは、高齢者の生活支援において濃厚な接触を要するために、日々、自らの高い行動制限とそれに伴うストレスを抱えながら業務を遂行しているところ です。

そのような中で、私ども肝属老施協と大隅地区介護事業所連絡協議会は、会員に向けたアンケート調査を実施いたしました。その結果につきまして、報告及び要望書を提出させていただきます。新型コロナウイルス感染症による現状がいつまで続くか分からない中において、ぜひ現場の率直な声に耳を傾けていただきたいと思ひ要望した所存です。

できましたら、このような現場の声に対して、文書にて回答を賜りましたら幸いです。私どもも、会員の声にこたえ回答の内容を公表し、両団体で今後の対応を検討する必要があると考えております。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが我々の状況も切迫しておりますので、今月末までに要望書に対するご回答を文書にてお示し頂きたく、宜しくお願い致します。

事務局：特別養護老人ホーム鹿屋長寿園

電話：0994-43-2546

事務局：尾迫

新型コロナウイルス感染症に関する要望書

1. 私たちが最も不安なことは、新型コロナウイルス感染症の感染とそれが利用者やご家族、また自分の家族に感染していくことです。そのために、自らも厳しい行動制限を課して生活しております。しかし、身近で感染が発生した場合、個人情報保護を理由に情報の詳細が開示されず、予防に努めるにも限界です。このことが二次感染の危険性につながるため、少なくとも市町村レベルにおける発生について発生場所及び感染経路をホームページで開示することを要望します。
2. 市や県においては、実際の介護の現場の状況をみていただき、利用者や職員が、何が不安で何に困っているのか、具体的にどのような支援を必要としているのか、それによる有効な対策を検討していただくことを要望します。
3. 市や県のレベルにおいて、集団での集まりを要請した研修等が散見されますが、参加する職員は常に感染のリスクに不安を感じています。中には、グループワークなど含まれるものもあり、研修によっては感染した場合は自己責任というものもあります。資格更新等については受講を義務付けられているものがありますが、感染発生を招く恐れが非常に高い集団研修は蜜を避けるという国の考えに沿うとは思えません。今後は Zoom 等を活用したオンラインに変更していただくよう要望します。また、感染に際しての判断を自己責任とする旨の文章は削除願います。
4. 実際に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の事業の損失補填について、実態に即した細やかなヒアリングとそれに見合う自治体レベルでの補償を要望します。
5. 多くの事業所で人員については、新型コロナウイルス感染症以前より慢性的な不足が続いているために、万が一、一時的に人員基準等を割り込む場合の緩和措置を個別の事情で勘案し認めていただくことを要望します。
6. サービス利用者に陽性が確認された場合に、入院ベッドに空きがないなどの理由によりこの先施設でみなければならないことも想定されます。その際に、職員が少しでも安心して安全に業務を遂行できる環境整備のために、人的支援や職員のホテルでの宿泊などの手配を含めた具体的支援を要望します。
7. 令和2年11月19日厚労省より、高齢者施設において入居者、職員等に発熱及びその他関連症状が認められた場合、保健所に連絡し積極的に PCR 検査（保健所対応できない場合は民間病院にて抗原検査等）を実施するよう通達されました。一方、現在クラスター発生の主要因である、在宅サービスに係わる者（ヘルパー、訪問看護、通所介護等のスタッフ及び利用者等）は対象ではありません。一部の自治体では独自の判断で通所介護に就業する職員に対し定期的な検査を実施しております。在宅サービスに係わる者が安心して支援できるよう関連症状がある利用者及び職員に対し積極的に検査が受けられる体制の構築を強く要望します。